

下仁田町地域公共交通会議



群馬県
下仁田町

町営バスの利用者減少と町内4小学校の統合に伴うスクールバス事業の見直しを機に、平成24年4月より、朝・夕のスクールバスに**児童生徒と一般利用者を混乗化**。**公共ライドシェアとも一体的に運用**することで、**運行効率化・運行費削減**を実現。

(取組の概要)

1. 多様な主体の実質的参画

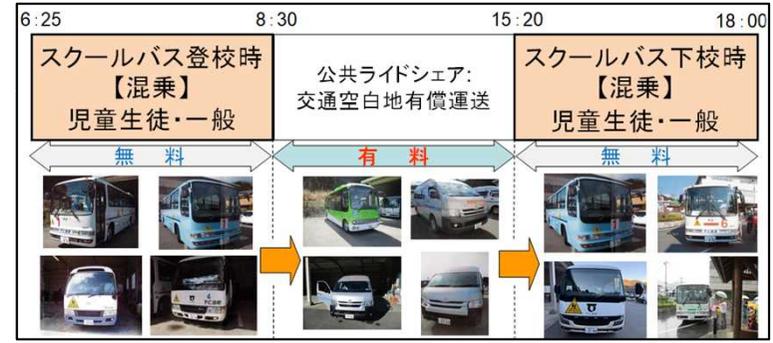
- 平成18年度に既に設置していた地域公共交通会議に、平成23年からスクールバス部会・路線バス部会という下部組織を設置し、学校長や交通事業者等と何度も意見交換を重ね、運行計画案を改善した。
- 町内各地区では住民・保護者説明会を開催し、一般利用者との混乗に対する理解促進に努めた。
- 運行主体は下仁田町が担い、運行管理・整備管理は上信ハイヤーへ委託。



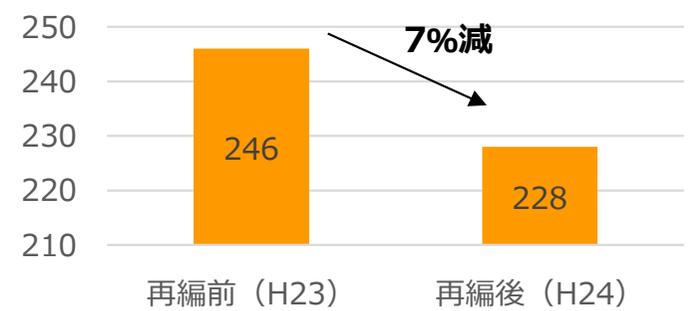
学校説明会の様子

2. 創意工夫

- 朝・夕（6:25～8:00、15:00～18:05）は、無料のスクールバスとして児童生徒と一般利用者の混乗を実施。昼間（8:00～15:00）は、公共ライドシェア「しもにたバス」として有料運行。
- 公共ライドシェアとして運行することで、スクールバスと車両や乗務員等を併用することを可能とし、経費削減を図った。
- 従前の町営バスで採用していた対キロ区間制運賃から、利用しやすい均一運賃制に変更。
- 平成30年には、運賃の無料対象者を拡充、鉄道ダイヤに合わせたダイヤ改正、停留所の新設、デマンド運行の廃止、フリー乗降区間の拡充などを実施し、利用促進を図った。
- 令和7年4月には、小中学校の終業時間の変更を受け、運行時間のすり合わせを行い、より利用しやすい運行時間に変更。
- スクールバスへの混乗を実施したことで、一般利用者が利用できる便数が増加し、利便性が向上。
- スクールバス車両には、音声合成装置や停留所名表示器のほか、車内カメラなどの緊急安全対策機能を搭載し、児童が乗車しやすく安全性の高い車両整備等を行った。



1km当たりの運行経費（円）



3. 自立性・継続性

- スクールバスと公共ライドシェアで、車両や乗務員を併用し、効率的に活用することにより、経費を削減。
- スクールバス時間帯の一般利用者の運賃は収受していないものの、スクールバスを活用することによる地方交付税措置によって、運賃減少に伴う収入を確保し、持続可能な運行体系が構築されている。

下仁田町地域公共交通会議

参考：しもにたバス路線図

